

2024年8月30日

心血管リハビリテーションを受けられた患者さん・ご家族様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はありません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2020年1月1日～2022年1月31日に急性心不全にて入院となり、心血管リハビリテーションを開始した方

【研究課題名】栄養とフレイル状態による急性心不全入院患者の予後予測に関する研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 脳血管リハビリテーション科医長 横田千晶

【研究の目的】この研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、入院時のフレイル（虚弱）・栄養状態がリハビリテーションによる機能改善、退院後の再入院のリスクを予測できるかを明らかにすることを目的としています。この研究の成果は、将来的に入院中の病態に応じた個別リハビリテーションの実施や栄養介入の取り組みに繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】

- ① 基本情報：年齢、性別、身長、体重、循環器病の危険因子の有無（高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動）、合併疾患の有無（脳卒中既往、虚血性心疾患、大動脈疾患、末梢動脈疾患）、心不全重症度分類、心エコーでの心機能所見、血液データ（腎機能、栄養状態、炎症状態、心不全状態のマーカー）、病名、入退院日および外来受診日（登録となった入院日を起点に2年間遡る）
- ② リハビリテーションデータ：開始日、終了日、リハビリテーション方法、リハビリテーション実施単位数、入院時と退院時の日常生活自立度
- ③ 退院時転帰：退院時の自立度
- ④ 退院後1年間の再入院の有無、再入院日、入院目的

本研究では研究課題名「慢性心不全・心疾患患者に対する早期離床、ADL改善を目指した心血管リハビリテーション法の開発」で取得した上記の情報も利用します。

【情報の管理責任者】国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】研究許可日より2027年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センター 公式サイト

(<http://www.ncvc.go.jp>)の「実施中の臨床研究」のページに公開しています。将来、こ

の研究の研究計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、研究倫理審査委員会の承認と、当機関の許可を受けて行われます。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【お問合せ】 国立循環器病研究センター 脳血管リハビリテーション科医長 横田千晶
電話 06-6170-1070 (代表)